

# 令和2年(2020年)表における作業の 効率化 ～付帯表、接続表等～

令和4年1月11日

総務省政策統括官付  
統計審査官室（産業連関担当）

# 1 作業効率化が求められる背景

- 2020年表はSUT体系移行に向けた取組を行っていることに加え、コロナウイルス感染症の影響があり、従来以上の作業が見込まれる状況
- また、関係府省における体制上の課題があるとともに、SUT体系に全面移行する2025年表の対応を早期に開始する必要
- 「令和2年（2020年）産業連関表の作成に関する基本方針」（令和2年8月19日産業連関部局長会議決定）（以下「基本方針」）や、産業連関技術会議でもこれらの課題を認識

## 参考 基本方針の記述内容

- (3)付帯表は、令和7年（2025年）産業連関表におけるSUT体系への移行を見据え、産業別商品産出表（V表）に代わり、供給表を作成することとし、また、使用表を新たに付帯表として作成する。その他の付帯表である物量表、屑・副産物発生及び投入表、雇用表（生産活動部門別従業者内訳表）、雇用マトリックス（生産活動部門別職業別雇用者数表）、固定資本マトリックス、自家輸送マトリックスについては、その利用状況、作成方式を検討の上、産業連関表全体の作成作業の効率化、公表の早期化の観点からその作成の在り方を検討する。
- (4) 令和2年（2020年）産業連関表の完成後に、平成23－27－令和2年簡易版接続産業連関表を作成する。なお、その作成に当たっては、令和7年（2025年）表の作成期間と重複している点を考慮し、これまでの接続産業連関表とは異なり簡易な方法での作成方法とする。

### ③参考表に関する取組

平成27年表においては、基本価格表示、本社マトリックス、自社開発ソフトウェア、特許等サービスにかかる4つの参考表を推計した。

これらの参考表について、令和2年表では以下のように取り組んではどうか。

- 基本価格表示

- ✓ 関連する間接税部門（うち消費税部分）の推計を、基本価格表示表と整合する形で行うことで、基本価格表示に関する作業を前倒しし、その結果をもって公表形態を決定する。

- 上記以外

- ✓ 本格的な改善は令和7年表以降に行うこととし、令和2年表においては平成27年表と同様の対応とする。

### ④事業の内容の見直し（公表形態の変更など）

- 部門の統廃合等の検討

- ✓ サービス部門の生産物分類への対応、電力や情報サービスの再編により増加することが想定される部門数について、既存の部門の統廃合を検討する必要。

- 付帯表等の作成の在り方の検討

- ✓ 推計作業の複雑化、公表する表の増加を受け、付帯表や参考表の再編を検討する必要はないか（ex.物量表など）。

- 公表の在り方の検討

- ✓ 平成27年表のような確報値をいきなり出す方法が良いのか、接続表の在り方も含めて検討する必要はないか。（ex.接続表の公表と併せて確報値を改定するなど）

## 2 接続表の見直しについて

- 2020年接続表においては、2011年、15年、20年の3時点の整合した部門の国内生産額・輸出入と、それらの実質値の表について、従来同様、各府省の共同作業として推計する。
- マトリックス表のうち、2020年については、各府省の共同作業として、必要に応じ、公表済みの基本表の計数を一部見直し、基本表の改訂版を公表することとしたい。（改訂があれば2020年基本表（改訂版）として公表）
- マトリックス表のうち、2011年、15年の2時点については、総務省により、参考表として簡便な手法で作成する。

### 新たな接続表のイメージ

	2011年名目	2011年実質 (2020年価格)	2015年名目	2015年実質 (2020年価格)	2020年
部門 A	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入
部門 B	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入
部門 C	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入	C T・輸出・ 輸入
...					

部門は原則2020年ベース

### 3 付帯表等の見直しについて

- 一部の統計表については、従来のように単独の表ではなく、**DB形式**を用いて、「投入表」等から導出できるように変更。なお、利用者の分析ニーズが高いものをエクセルで公表。

例 物量表は、10桁国内生産額表に統合（一部の品目に物量と単価が含まれること、また、需要先情報が特定される場合に追記することで、物量表の一部の情報を**DB形式**で抽出可能とする）

- 13分類や大分類表については、産業連関表にあまりなじみのない方向けであることから、マトリックス形式などの取引基本表や逆行列などの表を包含したエクセルブックを提供。
- 公表時の閣議への資料配布を廃止するとともに、他表から容易に計算可能なものなどを廃止し、公表内容を次のとおり整理することとしたい。

# 2015年表

# 2020年表

	基	小	中	大	13
投入表（生産者価格、購入者価格）	○	○			
産出表（生産者価格、購入者価格）	○	○			
生産者価格評価表（行列形式）	○	○	○	○	○
購入者価格評価表（行列形式）		○	○	○	○
投入係数表（生産者価格評価）	○	○	○	○	○
I-(I-M)A逆行列		○	○	○	○
I-Ad、I-A逆行列		○	○	○	
最終需要項目別生産誘発表、粗付加価値誘発表、輸入誘発表		○	○	○	○
輸入係数、輸入品投入係数等		○	○	○	
商業マージン表、国内貨物運賃表	○	○	○		
輸入表	○	○	○		
屑・副産物発生及び投入表	○				
物量表	○				
雇用表（部門別）	○	○	○		
雇用マトリックス（部門別職業別）			○		
固定資本マトリックス	財基本分類×形成中分類				
産業別商品産出表（V表）			○		
自家輸送マトリックス	行基本文類×列小分類×旅客輸送・貨物輸送				
投入表（生産者価格、購入者価格）（自家輸送表章なし）	○	○			
生産者価格評価表（行列形式（同））			○	○	
I-(I-M)A、I-Ad、I-A逆行列（同）		○	○	○	
部門別品目別国内生産額表（10桁表）	○				

	基	小	中	大	13
供給表（産業別商品産出表（V表））	産業×生産物（公表部門）				
使用表	産業×生産物（公表部門）				
投入産出表（生産者価格、購入者価格）	① ※DB形式のみ 屑・副産物の名称情報を含む				
生産者価格評価表（行列形式）	○	○	○		
購入者価格評価表（行列形式）	○	○	○		
I-(I-M)A逆行列		○	○		
I-Ad逆行列		○			
輸入表	①	○			
雇用表（部門別）	○	○	○		
雇用マトリックス（部門別職業別）			○		
固定資本マトリックス	財基本分類×形成中分類				
自家輸送マトリックス	行基本文類×列小分類×旅客輸送・貨物輸送				
投入産出表（生産者価格、購入者価格）（自家輸送表章なし）	② ※DB形式のみ				
部門別品目別国内生産額表（10桁表）	③ ※DB形式のみ 産出先の情報を含む				
13分類・大分類エクセルブック	行列形式表、逆行列等				

凡例 番号：DB形式のみ公表、○：作成、  
網掛けH27からの変更

## 4 精度等を踏まえた公表内容の位置付けについて

- 2020年表の部門については、精度確保と作業効率化のため、サービス部門の生産物分類への対応、電力や情報サービスの再編とともに、投入・産出等が類似している化学製品等の統合を行うこととしたい。
- 統計改革推進会議やその後の統計委員会など精度面の指摘があり、ニーズも踏まえ、公表内容の位置付けを整理。
  - ✓ 2020年表では、従来の産業連関表の取引基本表・付帯表については一部集約するなどの変更
    - ただし、百万円単位を十億円単位に変更といった丸めなどの対応も検討
  - ✓ SUT体系全面移行の2025年表では、諸外国の公表形態も踏まえ、供給・使用表（公表部門）と、産業連関表（取引基本表）（統合小分類相当）のみを基幹統計とし、他はすべて付帯表として整理する方向

### 位置付けの整理（2020年表）

産業連関表（取引基本表）及び  
あわせて公表する付随統計（供給・使用表　：10府省庁作成  
を含む付帯表、10桁表、逆行列係数表など）

参考表・・・参考情報・試行的な統計　：総務省作成  
・ ・ 統合中分類の行列形式の取引基本表（基本価格表示）→本体表と同時公表  
・ ・ 本社マトリックスなど→本体表公表後に公表

※ そのほか、接続表は10府省庁作成。なお、接続表公表時にこれらの計数の一部改定がありえる。